

# 環境衛生課からの お知らせ

環境衛生課（吉備庁舎）  
清水行政局 建設環境室

「ごみ分別すれば資源」

**リチウムイオン電池を捨てないで！  
火事が起きています**

リチウムイオン電池は、大容量の電力を蓄えることが可能で、繰り返し充電して使用できる電池です。その利便性から、スマートフォンやゲーム機器、電子たばこ、掃除機など、身の回りのさまざまな製品に内蔵されています。

このリチウムイオン電池には、衝撃を加えると発火するという性質があります。そのため、これを内蔵した製品を捨てる時、正しい方法で廃棄しないと、大きな事故につながる可能性があります。実際、環境センターにおいて、リチウムイオン電池・バッテリーが原因と思われる火災が起きています。令和5年（2023年）にはばやが21件も発生しています。令和6年（2024年）11月には消防隊が出勤する事態になりました。リチウムイオン電池は大変危険なため、可燃ごみでも不

燃ごみでも捨てることはできません。廃棄方法については次をご確認ください。



リチウムイオン電池

**リチウムイオン電池を含む  
小型充電電池の回収を行っています**

有田川町では次の小型充電電池の回収を行っています。場所は有田川町役場吉備庁舎2階の環境衛生課と、プラスチック収集場の2カ所です。受け入れることができるのはJBRRCというリサイクル団体の会員企業が製造したものに限り、会員企業につきましてはJBRRCのホームページなどでお調べください。

## ●回収できるもの

- ・ニカド電池／電動工具・ラジコンカー・モーターなど
- ・リチウムイオン電池／パソコン・スマホ・モバイルバッテリーなど
- ・ニッケル水素電池／乾電池の代替全般など

※この3種類の電池であっても、解体された電池パック・破損した電池・膨張や水濡れした電池・ハードケースに入っていないラミネートタイプの電池などは回収対象外です。詳しくはJBRRCのホームページなどでご確認ください。



ニカド電池

Ni-Cd



リチウムイオン電池

Li-ion



ニッケル水素電池

Ni-MH

- 対象外電池及びその他の製品が混入していた場合は、受け取りできません。
- 対象外電池及びその他の製品は着払いでの返送となりますので、回収依頼の際はご注意ください。
- ご不明点があればJBRRCホームページよりお問い合わせください(写真添付等)。

その他の箇別表示

ニカド電池の場合	●ニカド電池 ●密閉型ニッケルカドミウム蓄電池 ●Ni-Cd電池
ニッケル水素電池の場合	●ニッケル水素蓄電池 ●密閉型ニッケル水素蓄電池 ●Ni-MH電池
リチウムイオン電池の場合	●リチウムイオン電池 ●Li-ion電池 ●Li-ion電池

※メーカーにより表記や位置などは異なります。また、リサイクルマークは「黒色」のものもあります。

## ●回収場所・時間

- ・環境衛生課（吉備庁舎） 8時30分～17時15分（役場開庁日に伴う）
- ・有田川町プラスチック収集場 平日 8時30分～15時（12時～13時は休業）

※マンガン乾電池・アルカリ乾電池は地区の回収ボックスへ入れてください。

※端子の絶縁が必要です。回収場所でも絶縁テープをご用意しております。

※回収対象外の電池につきましては、環境衛生課へご相談ください。

## 家庭から出る

### 燃えるごみの収集量

令和6年（2024年）11月／約279トン  
前月から約10トンの増加

最近よく“SDG s（エス・ディー・ジーズ）”という言葉を目にします。

これは国連が定めた「持続可能な開発目標」の呼び名です。ごく簡単に言うと「みんなが幸せで快適な生活を送れるような未来を作るための目標」でしょうか。

私たち生活者が直接SDG sに取り組める活動の一つがごみの減量化です。例えば、リユース服を選ぶことやコンポストを利用して生ごみの量を減らすこともSDG s達成に向けた大切な取り組みです。より良い地球の未来のためにごみを減らしましょう！